

1. 交付金事業の名称 原子力・エネルギー教育支援事業
2. 交付金事業の事業主体 愛知県
3. 交付金事業の実施場所 愛知県
4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要な以下の内容を実施した。

【県事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

・発電・エネルギーの学習に関する教材の整備（瑞陵高校、春日井高校、岡崎北高校、豊丘高校、国府高校）
スターリングエンジン、手回し発電機、はく検電器等を整備し、発電・エネルギーの学習に活用した。

(2) 施設見学の実施

・核融合科学研究所、浜岡原子力発電所、御前崎風力発電所等の見学（瑞陵高校、春日井高校、岡崎北高校、豊丘高校、国府高校）
核融合科学研究所、浜岡原子力発電所、御前崎風力発電所等を見学し、原子力・放射線、発電・エネルギーの学習に活用した。

(3) 講演会の実施

有識者による講演会を実施し、原子力・エネルギーについての理解を深めた。

(4) 教員研修の実施

発電・エネルギーについての教員研修をトヨタ博物館へ赴き実施した。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費 2, 455, 911円

交付金充当額 2, 455, 911円

6. 交付金事業の成果及び評価

- ・当事業により原子力・エネルギーについて生徒の理解が促進されたと回答した割合【理解度】は、当初70%に対して、実績が実験器具・実験材料の整備事業は90%、施設見学事業が90%、講演会事業が90%、教員研修事業が90%であった。実験器具・実験材料の整備、施設見学、講演会事業、教員研修を実施したことにより、実際に実験を行ったり、施設見学や講演会を通して、放射線や原子力を含むエネルギーに関する興味・関心が高まり、生徒の理解が促進された。
- ・原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として当事業が促進されたと回答した割合【満足度】は、当初70%に対して、実績が実験器具・実験材料の整備事業は90%、施設見学事業は95%、講演会事業が90%、教員研修事業が100%であった。
- ・本事業を実施したことにより、原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として実験器具・実験材料の整備、施設見学、講演会事業、教員研修事業が促進されたと評価できる。

当事業により原子力・エネルギーについて児童・生徒等の理解が促進されたと回答した割合〔理解度〕は、目標90%に対して実績90%で、達成度は100%だった。

原子力・エネルギーに関する教育への環境整備として当事業が促進されたと回答した割合〔満足度〕は、目標90%に対して実績94%で、達成度は104%だった。実験器具・実験材料の整備事業を実施したことにより、原子力・エネルギーに関する教育への環境が整備され、原子力・エネルギーについて生徒等の理解が促進された。